

会議名	令和4年度第2回上下水道事業経営審議会
日時	令和4年11月2日(水) 14:00~15:30
場所	岐阜市役所 6階 6-3会議室
出席委員	浅野雅樹委員、若山貴嗣委員、西垣信康委員、井深正美委員、松原和生委員 武藤豪委員、近藤隆郎委員、森健二委員、後藤尚久委員(会長)、服部学委員 瀬瀬晴美委員、廣瀬美紀委員(副会長)、遠藤民雄委員、松原孝一委員 武藤仁委員
欠席委員	
次第	1 開会 2 報告事項 ・令和3年度の決算状況について ・上下水道事業経営戦略の進捗状況報告について ・静岡市における応援給水活動について 3 その他 4 閉会
議事概要	<p><b>《報告事項》</b></p> <p>令和3年度の決算状況、上下水道事業経営戦略の進捗状況及び静岡市における応援給水活動について事務局から説明</p> <p><b>《説明事項に対する質疑》</b></p> <p><b>(1)令和3年度の決算状況について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p><b>(2)上下水道事業経営戦略の進捗状況報告について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員から、経営戦略の進捗状況の中で有収率の評価が「維持」となっていることは適切ではないのではないかというご意見があり、水道の漏水リスクが上がっていくなかで、有収率が前年度と比較しプラスマイナスゼロであったため「維持」と表現したと回答</li> <li>・委員から、「新水道ビジョン」で示されていた有収率の達成目標が経営戦略でも維持されているかどうかという質問があり、維持されていると回答</li> <li>・委員から、一般競争入札により決定した電力会社はどこかという質問があり、下水道施設は競争入札で電力会社を決定しているが、水道施設については応札がなかったため、中部電力パワーグリッドの最終保障契約で電力を賄っていると回答</li> <li>・委員から、同格の都市の有収率のデータを把握しているかという質問があり、令和2年度における中核市の平均有収率は91.0%と把握していると回答</li> </ul>

・委員から、有収率が低い根本的な原因を把握しているかという質問があり、不確かなことは言えないが、水道管の本管から各家庭に配水する「給水管」からの漏水が大きな原因ではないかと考えていると回答

・委員から、有収率が上がらない中での料金改定について質問があり、電気料金や燃料価格の高騰によって、上下水道事業の経営も苦しい状況であることを市民に理解していただけるよう説明していくと回答

・委員から、上下水道事業における広域化のメリットについて質問があり、事業費の削減等のメリットがあると回答

・委員から、上下水道事業の広域化を行う地域や自治体について質問があり、具体的なことは決定していないが、隣接する市町や流域下水道に接続している市町との広域化を検討する計画になると考えていると回答

・委員から、人材の育成や技能の研修の為に、他自治体と共同しての研修実施や学校の設立の是非について質問があり、内部での研修や、日本水道協会・下水道協会等の全国規模の団体が実施する研修制度を活用しながら技術の継承に取り組んでいると回答

・委員から、令和3年度に入札手続きを実施した土地について質問があり、日野南3丁目の旧日野信長苑受水槽が設置されていた土地と、長良字福土山の中央団地ポンプ室が設置されていた土地であると回答

### **(3)静岡市における応援給水活動について**

・委員から、災害に迅速に対応できるように県と市が良好な関係を保っていただきたいとのご意見があり、普段から連携を密にとっていると回答

・委員から、災害時に岐阜市は岐阜県からの指示が必要かという質問があり、指示を待たず独自に動くことが出来ると回答

### **《その他の質疑・意見等》**

・委員から、スマートメーターの導入の是非について質問があり、導入費用が莫大になるため、他都市やメーカーの動向を見つつ検討していくと回答

・委員から、上下水道施設での太陽光発電等の実施の検討について質問があり、今後検討の余地があると回答